

西暦 2025 年 9 月 5 日 第 1 版

## 臨床研究に関する公開情報

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画や方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。研究に参加されない場合にも、いかなる診療上の不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

### 【研究課題名】

岡崎市民病院栄養サポート室におけるインシデント<sup>1)</sup>・アクシデント<sup>2)</sup>報告に関する実態調査

- 1)インシデント：医療の過程において、エラーが発生したが、あるいは発生しかけたが、患者さんに障害を及ぼすことなく、医療事故に至らなかったものです。「ヒヤリ・ハット」ともいいます。
- 2)アクシデント：防止可能なものか、過失によるものかに関わらず、医療に関わる場所で、医療の過程において、不適切な医療行為が、結果として患者さんへ意図しない傷害を生じ、その経過が一定程度以上の影響を与えたものです。

### 【研究責任者】

医療技術局 栄養サポート室 副主任 田積匡平

### 【研究の背景】

栄養サポート室は岡崎市民病院医療技術局内の部署の一つで、管理栄養士と言語聴覚士が所属し、主に入院中の患者さんが安心して楽しく食事ができるよう日々の業務に取り組んでいます。医療技術局は臨床検査室、放射線室、放射線治療室、臨床工学室、リハビリテーション室、診療技術室、超音波検査室、栄養サポート室の8室から構成されており、月に1回、医療技術局全体のインシデント・アクシデント報告を会議形式で共有し、課題を検討合っています。各室の医療安全に対する意識や組織風土には違いがみられ、栄養サポート室の医療安全に関する検討をこれまで行っておりませんでした。栄養サポート室の過去のインシデント・アクシデント報告を分析し、医療技術局の他室と比較することで栄養サポート室の課題を明らかにすることができれば、患者さんがより安心して楽しく食事できるように業務改善を進めていけるのではないかと考えています。

### 【研究の目的】

栄養サポート室におけるインシデント・アクシデント報告の実態を明らかにし、今後取り組むべき課題を明らかにすることです。

### 【研究の方法】

- 対象となる患者さん

医療技術局から報告があったインシデント・アクシデント報告の対象となった方

- 研究期間：臨床研究審査委員会承認日～2026 年 6 月 30 日

- 利用する情報

インシデント・アクシデント報告数、スタッフ 1 人あたりの報告数、事例レベルの内訳、インシデント・アクシデントの報告内容

- 情報の管理

情報は個人が判別できる情報は削除したうえで外部とのインターネット接続ができないパソコン上に保管し、研究責任者である田積匡平が集計し、解析を行います。

### 【研究についての情報公開】

この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産などは、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

### 【個人情報の取扱い】

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、ご住所など、患者さんを特定できる情報は全て削除します。情報は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は病院外の学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

### 【問い合わせ先】

岡崎市民病院

〒444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合 3 番地 1

医療技術局 栄養サポート室 副主任 田積匡平

電話：0564-21-8111